

■川西市行財政改革審議会の答申骨子(案)

1. 行財政改革を必要とする時代背景

2. 行財政経営の基底

- 財政健全化**—財政基金に頼らない、収支均衡、持続可能な行財政運営の確立
- 市民とともに進めるまちづくり**—市民満足度の向上、地域や生活の実態に根ざしたまちづくり
- 情報の収集と共有化**—時代の変化、地域情報、市民ニーズ

3. 行財政運営見直しの目標

- 「あれも・これも」から、「あれか・これか」の選択**—実施事業の選択と集中
- 行政サービスの最適化**—時代に即した事業の実施、実施主体の最適化
- マネジメントサイクルの定着**—計画(Plan)→実行(Do)→検証(Check)→改善(Action)の流れを次の計画(Plan)に活かしていくプロセスの定着
- 生産性の向上**—事務処理と意思決定のスピードアップ、経済性・効率性・有効性の向上
- 市民が納得できる行政運営**—情報の共有化、説明責任の向上
- 協働と参画のまちづくり**—地域づくりや計画づくりでの協働と参画
- 情報提供の創意工夫**—広報の充実

4. 行財政改革の重点事項

- 1) **事務事業の見直し**—事業の効率化と統廃合、行政サービス水準の見直し
- 2) **人件費の抑制**—職員数の削減、給与水準と手当の見直し
- 3) **財源の確保**—税等収納率の向上、独自財源の確保、資産の有効活用
- 4) **民間委託等の推進**—業務委託、指定管理者制度
- 5) **協働と参画のまちづくりの推進**—理念の浸透、しくみづくり
- 6) **経営資源の有効活用**—人材育成、効率的組織、施設の有効活用
- 7) **外郭団体等の効率化**—外郭団体の再編、公営企業の経営健全化